

青谷乗合タクシーの継続検討は



自民党議員 谷村 浩志

問

コロナ禍による自粛や休業の影響を受けた子育て世帯は、国からの臨時特別給付金の支給があるものの、多くの世帯が減収分の穴埋めに至らない状況にある。市独自でも直接的な追加支援策を早急に講じるべきだが、考えは。

問

①緊急事態宣言発出後の外出自粛要請を受けて、青谷方面乗合タクシー利用状況への影響は②現状では次年度運行継続判断の基準を満たす乗車率達成は難しいと考える。令和2年度は状況を鑑み、特例として継続判断条件の緩和を。

答

国の給付金として、6月下旬に児童手当受給世帯に対し対象児童1人につき1万円を支給予定。市もより一層の支援を行うため、子育て世帯応援臨時特別給付金として対象児童1人につき1万円を支給すべく対応を検討してきており、本会期中に追加補正予算案として提案したい。

答

①この4月と5月は昨年同時期に比べ57%の乗車率となっており、大きな影響を受けている②新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら判断期限の10月末まで様子を見ることとし、影響により利用人数が少なくないと判断できる月は計算から省くなど、考慮する中で継続判断を検討したい。

郵便局との包括協定締結は



自民党議員 平松 亮

問

新型コロナウイルス感染症対策として、市民の生命・生活と同時に市中の経済を守る施策も講じるべき。影響が大きく収益が悪化している小売業や飲食業を支援するため、平成27年にも例のある市プレミアム商品券の発行を行う考えは。

問

独居世帯が今後増加していく中でより市民に寄り添った行政サービス提供が行えるスマート自治体への転換を考える時期にきている。コロナ対応で3密を避ける方向性からも、行政・市民サービス拠点の分散化を目指し、市内に9局ある郵便局と連携・協働する包括協定を締結してはどうか。

答

新型コロナウイルスと共存しながら進める経済活動の回復期において、地域経済の立て直しと経済循環を図る上でプレミアム商品券事業は大変効果的と考える。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加交付を確認する中で、商工会議所とも十分協議し実施を検討したい。

答

郵便局は地域の物流・金融拠点として市民の暮らしを支え、従来から公共性の高い業務を行っている。協定締結でこれまで以上に連携強化を図ることになれば、より市民の安心・安全が期待できる。協定締結に向けて積極的に協議したい。

JR長池駅周辺整備の進捗は



自民党議員 谷 直樹

問

市道30001号線と同2389号線との交差点は、南行き右折車両等による渋滞が慢性化している。これまで右折レーン設置を検討するも周辺の用地買収等が課題とされてきたが、今般、隣接する土地の建物が解体され更地となった。これを期に交差点改良に取り組み考えは。

問

プレミアム・アウトレット進出後、最寄り駅となるJR長池駅の周辺整備が進むが①南側広場へのアクセス道路整備の進捗は②国道24号の変則交差点2カ所への対応は。

答

右折レーン設置に当たり、北側だけでなく南側も用地買収や家屋移転を伴うことが想定されるため、現在東側への拡幅も一案として検討している。令和2年度は交差点周辺の測量を行い、設置への取り組みを進めていく。

答

①平成30年から3力年で計画策定を進めており、6力所で交通量調査を実施して、状況を地元協議会に報告した。この夏をめどに地域アンケート調査を行い、結果を参考に素案作成に取り組み②道路構造令等の基準を踏まえ既存道路との接続を考慮した検討を進めているが、安全でスムーズな交通動線の確保は困難。危険な状況は把握しており、引き続き検討を進める。